

2012.12.27

へドロしゅんせつ再開

覆砂も湖山池、来年度から

鳥取県や鳥取市の住民や行政でつくる「湖山池会議」は、湖山池の湖底に堆積しているへドロのしゅんせつとへドロを覆砂する事業を再開する。来年度から10年間かけて行う方針で、5年ぶり。こと

25日に同市役所で行われた会議で明らかにした。会議は、水中の塩分濃度を引き上げて以降初めて湖山池周辺6地区の自治会長と湖山池

引き上げに続く取り組みで、水質の改善を目標とする。関係者が一堂にそろって意見交換した。

参加者からは「ヒシの発生や悪臭がなくなった」「ハゼが見られるようになった」と環境改善が進んでいることを指摘する声が上が

り、一層の水質浄化を求めた。

県などによると、へドロのしゅんせつは費用対効果の高さが事業評価により証明されたのを受けて再開する。湖山池北西の福井地区の約14畝で計画。さらにへドロを封じ込めるため湖内約90畝の覆砂を検討している。なぎさ護岸整備や浅場の造成など漁場環境の整備にも着手する。

し実施した塩分濃度の

濃度を引き上げて以降初めて湖山池周辺6地区の自治会長と湖山池

り、一層の水質浄化を

求めた。